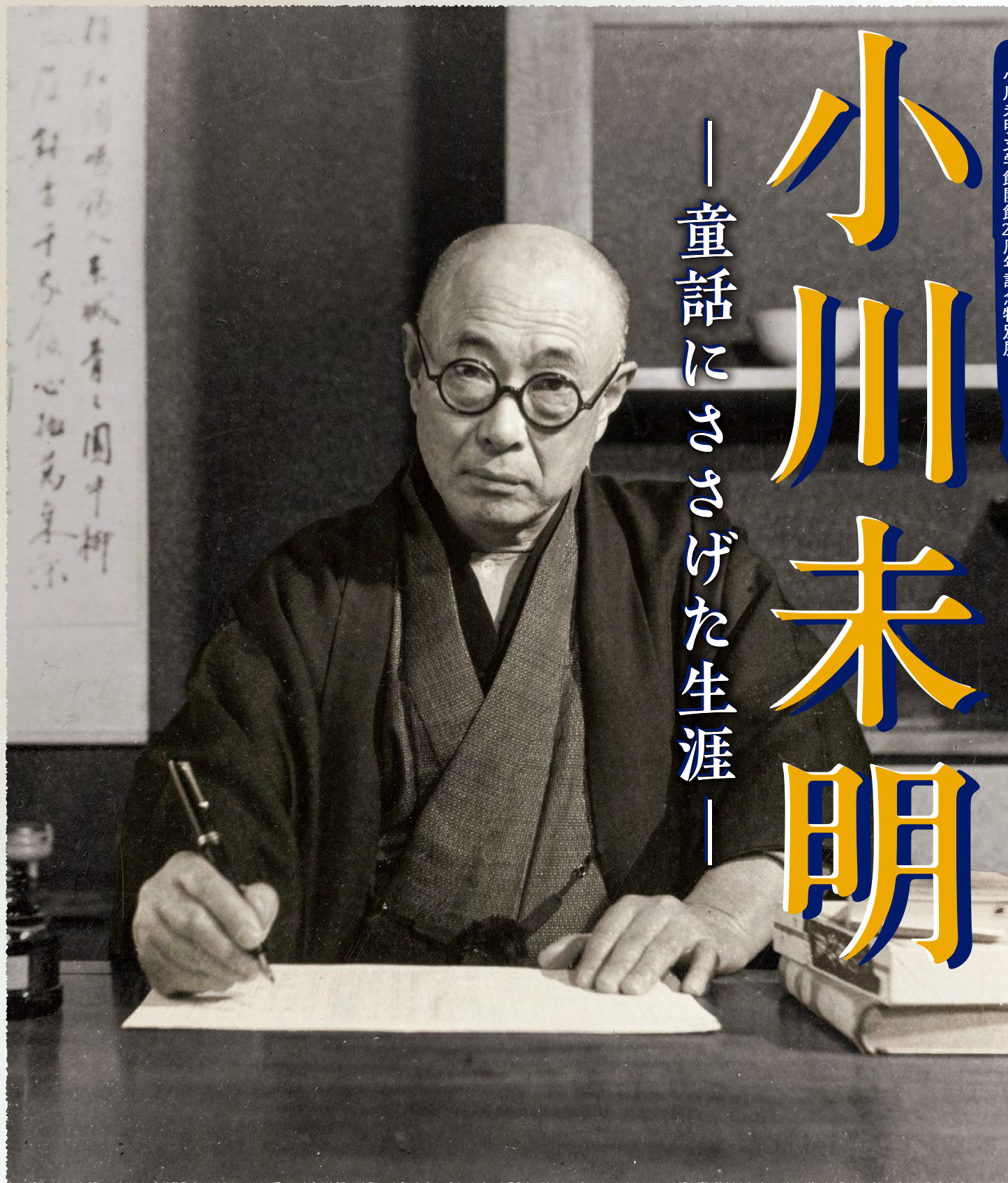


小川未明

— 童話に与えられた生涯 —



小川未明 (1950年2月、撮影/講談社)

2025年

10月4日(土) — 12月14日(日)

観覧無料

午前10時 — 午後6時

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)、10月16日(木)、11月20日(木)

会場 小川未明文学館 市民ギャラリー

小川未明文学館

主催: 小川未明文学館

協力: 日本近代童話の父 小川未明顕彰会

〒943-0835 新潟県上越市本城町8-30(上越市立高田図書館内)

TEL: 025-523-1083 FAX: 025-523-1086

<https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/mimei-bungakukan/>



小川未明

— 童話にささげた生涯 —

小川未明文学館開館20周年記念特別展

小川未明は、1882（明治15）年に新潟県中頸城郡高城村大字五分一（現上越市幸町）で生まれました。1901（明治34）年に東京専門学校（現早稲田大学）に入学、在学中に坪内逍遙に才能を見出され、1904（明治37）年に小説家デビューを果たしました。やがて未明は独自の作風で小説家として文壇で名をあげますが、のちに童話にこそ自らの天分があると思い定め、1926（大正15）年に「今後を童話作家に」（「東京日日新聞」）を発表、童話の道に専心します。50年以上の作家人生で世に送り出した童話は1200編を超えており、童話のために生き、童話にささげた生涯でした。

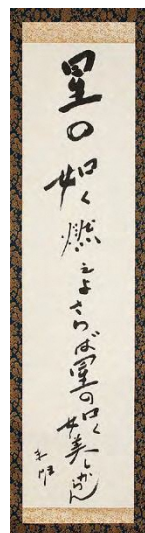
本展覧会では、未明の自筆原稿や書籍、当時の写真、未明の愛用品などを展示し、「日本近代童話の父」といわれる小川未明の生涯について童話作品を中心に紹介します。



上：未明自筆原稿「ふく助人形の話」小川家所蔵
下：未明自筆ノート「たましいは生きている」小川家所蔵



『未明童話集』全5巻（丸善 1927～1931年）
小川家所蔵



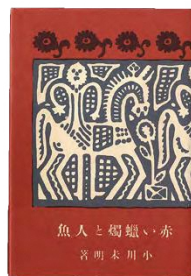
未明自筆詩軸「星の如く」小川家所蔵



小川未明（1950年2月、撮影／講談社）



右：未明自筆原稿「くちまねするとりとおひめさま」小川家所蔵
左：『小学一年生』13巻1号（©小学館 1957年）小川家所蔵



『赤い蠅と人魚』（天佑社 1921年）
小川未明文学館所蔵



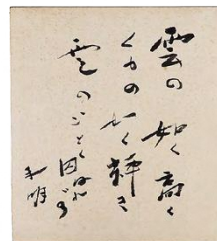
『おとぎばなし集 赤い船』（京文堂書店 1910年）
小川未明文学館所蔵



未明愛用品 小川家所蔵



小川健作（未明）宛
坪内雄蔵（逍遙）葉書
小川未明文学館所蔵



未明自筆色紙「雲の如く」
小川家所蔵

関連イベント

■第2回文学館講座

講 師：小埜裕二氏（上越教育大学教授・小川未明文学館専門指導員）
演 題：未明童話・1920年代の激動と豊饒
日 時：10月5日（日）午後2時～3時30分
申込期間：9月5日（金）～9月28日（日）までに小川未明文学館へ

■第3回文学館講座

講 師：古畑茉莉子氏（浜田広介記念館学芸員）
演 題：ひろすけ童話のはじまり～「黄金の稲束」から『ひろすけ童話読本』まで～
日 時：11月15日（土）午後2時～3時30分
申込期間：10月5日（日）～10月31日（金）までに小川未明文学館へ

■特別展おはなし会 参加無料・申込不要

未明ボランティアネットワークの協力により、子どもから大人まで楽しめる未明童話の読み語りをを行います。
日 時：10月26日（日）午前11時～12時30分
会 場：小川未明文学館

文学館講座 共通項目

会 場：高田図書館 第1会議室
定 員：30人（多数の場合は抽選）
聴講料：無料

■開館20周年記念
オリジナルしおり
文学館にて販売中
1枚 200円



交通のご案内

- えちごトキめき鉄道 高田駅から徒歩30分、車で10分
- 上信越自動車道 上越高田インターチェンジから車で15分
- 北陸自動車道 上越インターチェンジから車で20分
- 最寄りバス停：高田城址公園（下車徒歩5分）、大手町十字路口（下車徒歩10分）



小川未明文学館

〒943-0835 新潟県上越市本城町8-30（上越市立高田図書館内）
TEL:025-523-1083 FAX:025-523-1086
<https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/mimeie-bungakukan/>